

NPO法人 鹿児島技術士の会 講演会

1. 目的：

会員や一般社会人へ向けて、最新科学知見・技術・産業動向等の講演をとおして科学技術への好奇心を高めるとともに、広くその啓発・普及を図る。

2. 事業計画

科学技術や産業をリードしている人材に積極的にアプローチして講演会の講師をお願いしている。講演会を通して、建設業等あらゆる産業のイノベーションや起業、その課題解決にむけた技術的助言を行うとともに、支援と交流の輪を広める役割を果たす。

2-1 今回の内容

平成25年3月2日(土)14:00～17:00

鹿児島県民交流センター（東棟3階 中研修室第2）

・住所：〒892-0816 鹿児島市山下町14-50

・電話番号：099-221-6600（代表）・ファックス番号：099-221-6640

会費：一般 700円、NPO会員 1,000円（会場・資料作成等）

申込先：NPO法人鹿児島技術士の会 鹿児島市田上4-5-17（(株)上野城 内）
講演責任者 上野 敏孝 099-213-4761（2月22日までにお問い合わせください）

演題：「多自然川づくりの考え方と実践上の課題」

講師：吉村 伸一（よしむら しんいち）

（株式会社吉村伸一流域計画室代表取締役／エンジニア・アーキテクト協会副会長）

1948北海道生まれ。71年室蘭工業大学卒業。77～95年横浜市役所で河川事業に携わり、都市河川の自然回復に取り組む。98年横浜市中途退職、吉村伸一流域計画室設立。技術士（建設部門/環境部門）、特別上級技術者（土木学会）。主な作品に和泉川東山の水辺・関ヶ原の水辺（土木学会デザイン賞2005最優秀賞）、嘉瀬川・石井樋の復元整備（同2008優秀賞）、いたち川の自然復元及び景観整備（同2011優秀賞）。主な著書に「多自然川づくりポイントブックⅢ」（日本河川協会）、「まちづくりへのプレイクスルー」（彰国社）、「多自然型川づくりを超えて」（学芸出版社）、「日本文化の空間学」（東信堂）など（いずれも共著）

2-2 講演要旨

講演者は、平成9年の河川法改正により河川管理の目的に河川環境の整備と保全が位置づけられるよりはるか以前に、昭和58年の「いたち川低水路」をはじめとして多くの多自然型川づくり事業に携わってきた。前例のない川づくりは試行錯誤の連続でもあったが、それらを克服し、その後の多自然川づくりの方向性を決定付けるものとなった。

本講義では、講演者の知見も織り交ぜながら河川環境の設計について幅広く紹介しつつ、まちづくりや空間設計と一体化した多自然川づくりについて考える一助とする。

3. 共催後援等

共催 鹿児島県測量設計業協会（CPD建設系・測量系3単位認定申請）、鹿児島県建設コンサルタント協会

後援 鹿児島県
鹿児島県技術士会

鹿児島県建設業協会(CPDS→受付番号B655517) 3ユニット(登録は各自でお願いします)

CPD認定申請 日本技術士会九州支部 3単位